

「論文を読む」

皆さんは、月に何編くらいの論文を読まれるでしょうか？

研究をしようとする際、学会発表や論文にまとめようとする際の「基礎力」について問われたら、私はまず「論文を読む」ことの重要性を指摘します。数多くの論文を読まなければ、研究をする「基礎力」は絶対に身に付かないと思います。換言すれば、関係の深いものはもちろん、幅広くいろいろなものを読むことは、ゆっくりとではありますが、自分の「基礎力」を高めてくれます。

論文というものは、最初はとても読みにくいのですが、知識と慣れによってどんどん早く読めるようになります。超初心者から自認される方には、まずは1編の論文をじっくりと読み解かれることをおすすめします。わからないところも飛ばさず、理解できるまで調べてみてください。「わかる所だけ読んでおしまい」という読み方では、いつまでたっても、何編読んでも初心者の域を脱することはできないでしょう。逆に、1編でそれができれば、2編目は少し楽に、3編目はさらに楽に読めるようになります。そして、20編、30編と読み進めると、しっかりと「基礎力」が身に付いてきます。残念ながら、この過程に楽な道や近道はありません。努力をした者しかたどり着けない所だと思えます。

では、どのような論文を読むかですが、もちろん本会の「キャリア教育研究」に掲載された論文は必読でしょう。しかし、あまり数がありません。キャリア関係の論文は、本会のみならず他の学会でも発表されていますので、多くの雑誌から関連する論文を探さる必要があります。そのために、日本語の論文を検索する場合なら、J-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp>) や Google Scholar (<https://scholar.google.co.jp>) などが便利です。なお、本会もそうですが、以前は CiNii (<http://ci.nii.ac.jp>) に論文情報を提供していた学会、機関が多くありました。現在でも、検索機能、本文へのリンクも一部機能していますが、基本的には2016年3月でサービスが終了していますので、今後の利用には注意が必用でしょう。

さらに一歩進んで力をつけたい方には、読書記録をつけることをおすすめします。研究を通して得られた知見はもちろん、調査方法、分析方法に関する記録、表記（表現）の仕方に関する記録などを残しておくことで、自分の研究をする際に役立ちます。

(南山大学 浦上昌則)